科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K1	小宮山　智志			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K2	岸野　清孝			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K3	佐々木　桐子			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K4	石井　忠夫			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	１年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	１年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K5	藤田　美幸			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410033	XYY1410033	1	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
PBL（経営）K6	高木　義和			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	必修	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

本演習では PBL(Project-Based Learning)を実施する。プロジェクト活動のテーマを各チームで決定し、役割分担を決め、問題（目標）を設定し、それに向かって作業を行なう。また、進捗管理、成果についてはプレゼンを行なったり、報告書等のドキュメントを作成したりする。これにより、現代の社会活動の基本であるプロジェクト活動を体得する。

各クラス毎に少人数のチームを構成し、チームごとに作業計画を作成し、必要な知識の調査、活動、成果発表および報告書の作成を行なう。

具体的なプロジェクト活動のテーマについては、コースごと、クラスごとに異なる。これについては教員の指示に従うこと。また、スケジュールについてもコースやクラスで変わってくる、以下に挙げる各回毎の授業内容はその一例である。

各回毎の授業内容

第１回
【授】履修ガイダンス（後期の履修科目の確認）。
【前・後】事前：履修計画の作成。事後：履修計画の確認を行う。合計 1 時間。

第２回
【授】オリエンテーション：内容説明、資料配付。チーム分け。
【前・後】事前：テキストによる予習。事後：資料とチームメンバーの確認。合計 1 時間。

第３回
【授】チームビルディング：キックオフ、目的確認、役割分担、プロジェクト計画作成
【前・後】事後：プロジェクトの目的と役割の確認。プロジェクト計画の作成。合計 1 時間。

第４回
【授】プロジェクト計画の発表：チーム毎に発表。プロジェクト計画書提出。
【前・後】事前：プロジェクト計画発表の準備。1 時間。

第５回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第６回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第７回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第８回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第９回
【授】中間報告発表：チーム毎に発表。中間報告書提出。
【前・後】事前：中間報告の準備。事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。合計 1 時間。

第１０回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１１回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１２回
【授】プロジェクト活動；目的達成のための活動、進捗管理
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。1 時間。

第１３回
【授】プロジェクト活動：目的達成のための活動、進捗管理、成果報告準備
【前・後】事後：時間外の作業が必要な場合、プロジェクト活動を実施する。最終成果発表の準備。合計 1 時間。

第１４回
【授】最終成果発表：チーム毎に成果の発表を行なう。成果報告書提出。
【前・後】事前：最終成果発表の準備。1 時間。

第１５回
【授】夏期セミナー及びキャリア開発に関するガイダンス。日程は前後するので連絡します。
【前・後】事後：各自で内容の復習。1 時間。

第１６回

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	10	10	10	10	10		50
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	5	5	5	10			25
成果発表（口頭・実技）	5	5	5	5	5		25
演習							
その他							

個人の評価 50%（参加姿勢 25%、提出するドキュメント 25%）、チームの評価 50%（提出するドキュメント 25%、成果および発表 25%）とする。

ドキュメントや成果物の評価については次回の演習やポータルサイト等において講評を行なう。

教科書参考書

テキストは最初の授業時に配布する。必要な資料もその都度配布する。

受講に当たっての留意事項

・演習の出席が単位認定の必須条件となる
・授業時間の他にプロジェクト活動にある程度の時間をかけなければならない場合がある

学習到達目標

・プロジェクト活動について理解し、チームとしてプロジェクト計画を作成し、それにそって活動をし、一定の成果を提出する（グループで作成するドキュメントと成果物により評価：50%）
・プロジェクト活動に参加することにより、チームで協力して設定した問題を解決し目標を達成していく手法を修得する（個人で作成するドキュメントにより評価：50%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：A

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習